令和８年２月２日

令和７年度　第３回中井町学校運営協議会学校部会会議録

中井中学校

日　時　　令和８年１月30日(金)　11:45～14:50
場　所　　中井町立中井中学校　会議室
出席者　　学校運営協議会委員(３名)
　　学識経験者　　(欠席)
　　自治会代表
　　ＰＴＡ会長
　　ｽｸｰﾙｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ　　(欠席)
　　学校長
　　学校事務局(教頭　担当教員)
　　教頭
　　教務　　(記録)

１　日程説明　11:45～

２　授業参観　11:50～

３　給食試食　12:50～

４　協議会　　13:40～
⑴　校長あいさつ
・学校行事参観の謝辞
・学校だよりから、前回紹介以降の学校行事紹介
文化活動発表会の舞台発表と展示
３学年の校長面接を通して　生徒の意見や感じたこと
２年生の校長面接も通して　生徒の実態や職員との良好な関係
芸術鑑賞教室　日本舞踊の鑑賞と体験
足柄上南合同文化活動発表会に吹奏楽部の参加や美術作品の展示
これを機に部活動が２年生主体に移行
職位場体験学習を２年ぶりに実施
中井を見て歩くで町内をめぐり、文化財保護委員さんに講話と今後の検討
保護者が学校に足を運ぶ機会として給食試食会を実施　栄養士による講話
足柄上郡教育研究会発表会を実施し各学年授業公開と充実した研究会開催
勤労感謝の日に給食調理員さんに感謝を伝えるビデオを送る
年終わりの全校集会でクラスを表す漢字一文字発表

１年生がゲストティーチャーを招いてペットボトルキャップでクラフト
冬季休業の課題である書初めを展示し書初め展実施
３年生は２月に私立・公立高校の試験を経て卒業式に向けカウントダウン
１２年生は学年のまとめと進級に向けて

質疑

中井を見て歩くに魅力を感じているので参加したい
地域によって自動車では通るが歩きて通るのはあまりない
回数を増やしてもよい
地元のいいところが見つかる
地域とかかわる良い機会
企画や下見など時間がかかる
中学校で学年の枠を超えた縦割りの活動を行っているところは少ない
生徒からも縦割り行事を増やしてほしいとの声あり

⑵　協議

①　学校評価アンケートの結果から

１「学校行事と学校生活の充実度」

１ いじめや困りごとへの組織対応

肯定的な意見が多い
年３回のいじめアンケートとその間を埋めるミニアンケートの実施
ＳＣやＳＳＷとの連携

２ 学校行事

生徒・保護者・教員（３者）とも高い肯定率
今年度は体育祭を平日開催
文化活動発表会を見ていただいて充実感を味わえた
教員主導の行事から生徒主導にしていきたい　教員が声を出しすぎる

３ 安全・安心な学校

学校は安心で安全でなければならない
安全点検で速やかに対応している
不審者対応の避難訓練の実施
教室ではバリケードを設置し、駐在さんから指導講評をいただいた
課題を見つけることができた

４ 挨拶と清掃の充実に向けて

生徒はできていると答えているが課題を感じるので対応を

２　学習面および授業の現状

１ 授業のわかりやすさ

家庭学習が少ないので習慣化の指導が必要

２ 評価の妥当性

子どもたちも認められていると感じている
生徒と職員のいい関係ができている

3 家庭学習と読書習慣

教えられたことだけでなく自分で（課題を）見つけて取り組んで欲しい

毎朝１０分間朝読書の時間を設定しているが身についていない

読書の習慣化が必要である

文章を読む力をつける

朝読書を大切にする

3　地域とのつながり

1 １年生が中井町のＣＭ作りに取り組んでいる

2 アンケートから学校と地域が一体となっていない

4　３月に結果を公表

② 制服の在り方意識調査から

1　校長から

４０年間制服は変わっていない

男子は学ラン　女子はスカート　ジェンダーや多様性に対応していない

アンケートの実施から保護者は半数が見直しを支持し職員は９５％支持し生徒は集計中

必要性は保護者はあった方がいい　職員は８割があった方がいい　生徒は半数

今の小学４年が中学入学をめどに見直す方向で進めたい

他校はしばらく併用して移行

機能性が高く　様式だけを決めて　量販店のもの（ポロシャツ）も可として保護者の負担を減らす

検討委員会としてＰＴＡや学校運営協議会でも時代に合ったものを

業者との話し合いも必要である

2　質疑

ジャージや私服はどうか

保護者としては私服は困る

生徒としては服の選択が困る

動きやすさも考えたい

③ 学校と地域が一緒にできること

1　コミュニティースクール

町の見解

目指す生徒像

中井町　中井中に誇りを持つ

中井愛を持つ子ども達を育てる

学校と地域が」一緒になっていくこと

職場体験学習

町内の企業から

中井を見て歩く

ＰＴＡや地域の方の協力を仰ぐ
除草作業
中井フェスティバル
授業
ゲストティーチャーの活用　地域の人材活用
他校の様子
川岸の植栽整備
水田で米作り
学校に来る機会を作る
機会があって学校に来れば意見も出せる
読み聞かせや田畑の栽培体験
受け身で教えられてしまう　ではなく　主体的な活動と指導
まずは地域の方に来てもらう　体育祭や文化活動発表会
自分の子どもでないとなかなか来ない
学校だよりを回覧板で伝えては
文字が多いとなかなか読んでもらえない
氏名が出てしまうことへの配慮
目次や記事を絞った文書を配布し詳しくはＷｅｂページで紹介する
今年度はＷｅｂページを更新
学校のことを知らないと協力もできない
中井由来の人の講話など
地域から出たスポーツ選手
独創的な手法による農産物の生産
つながりを広げていくことが大切

④　全体を通して
あいさつも地域とのつながりが深まれば自然とできるようになる

⑶　閉会
次回　３月１６日（月）